

伊藤大使のバハルダール市での政府関係者との会議及び案件サイト視察

2021年7月15日、伊藤大使は、バハルダール市において、ママル・アムハラ州水・灌漑・エネルギー開発局長との会談、フィレウ・バハルダール大学学長との会談及び国立イネ研究研修センター（NRRTC）の視察を行いました。

最初のママル局長との会談においては、同局長より、現在実施中の平成29年度無償資金協力「バハルダール市上水道整備計画」に対する謝辞が述べられ、伊藤大使からは、同計画でのコロナ発生による邦人待避への理解に対する謝辞や、本支援を通じて市民の生活の質の向上を期待する言葉が述べられました。

フィレウ学長との会談では、同学長より、今年7月1日にキックオフを行った「ナイルの源流エチオピア・タナ湖で過剰繁茂する水草バイオマスの管理手法と有効利用プロセスの確立」プロジェクトに対する謝辞が述べられ、伊藤大使からは、持続的な経済発展を行う上で科学技術の発展は必要であり大学間の協力が重要、科学技術への支援に今後も協力する旨述べられました。また、同学長より現在日本と協力して実施中の様々なプロジェクトの説明があり、今後の我が国の科学技術に係る支援のあり方について意見交換を行いました。

国立イネ研究研修センターの視察では、シュワイエ所長よりエチオピアにおける高いコメ生産ニーズ及び同センター概要の説明があり、その後施設の見学を行いました。また、同センター近隣の圃場を見学し、伊藤大使からは、地元の農民に対し、ソーラーポンプ灌漑施設を通じてコメの品質を向上させ、日本のスシに使えるようなコメを目指してほしい旨述べました。



伊藤大使とママル局長



フィレウ学長との集合写真



NRRTCスタッフとの集合写真



地元農民への挨拶